



# 近畿支部会報2018年5月号

晴れ渡る青空、新緑を渡る爽やかな風、そんな5月のゴールデンウィークを挟んで、日本とモンゴルの障がい児家族が集まって、大津市を中心にして交流会を行いました。いろんなプログラムを楽しみましたが、東本願寺の拝観もありました。大津市 W 会員のお力添えで、普通には見られない国宝級の所も多くを案内して頂き、仏様の前でとても敬虔な祈りをされているモンゴルの方の姿がとても印象的でした。東本願寺では「非戦平和展」をしていました。そこで目にした真宗大谷派の不戦決議がとても印象深く感動的だったので、皆様にお伝えします。

## 不戦決議

1995年 真宗大谷派

私たちは過去において、大日本帝国の名の下に、世界の人々、とりわけアジア諸国の人たちに、言語に絶する惨禍をもたらし、仏法の名を借りて、将来ある青年たちを死地に赴かしめ、言い知れぬ苦難を強いたことを、深く懺悔するものであります。

この懺悔の思念を旨として、私たちは、人間のいのちを軽んじ、他を抹殺して愧じることのない、すべての戦争行為を否定し、さらに賜った信念の知恵を持って、宗門が犯した贖罪を検証し、これらの惨事を未然に防止する努力を惜しまないことを決意して、ここに「不戦の誓い」を表明するものであります。

さらに私たちは、かつての安穏なる世を願い、四海同朋への慈しみを説いたために、非国民とされ、宗門からさえ見捨てられた人々に対し、心からなる許しを乞うとともに、今日世界各地において不戦平和への願いに促されて、その実現に身を捧げておられるあらゆる心ある人々に、深甚の敬意を表するものであります。

私たちは、民族・言語・文化・宗教の相違を越えて、戦争を許さない、豊かで平和な国際社会の建設に向けて、すべての人々と歩みを共にすることを誓うものであります。右、決議いたします。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. 特別例会報告	.....	京都市	K.S
2. トラベル報告	..... La vie est belle ~人生は美しい~	橿原市	M.K
3. トラベラー受入れ報告	..... ロッテルダム	奈良市	K.J
	..... デンマークからとアメリカからの訪問	舞鶴市	K.Y
	..... 自転車が趣味の S さん	生駒市	O.Y
	..... 初めて我が家へ受入れて	京都市	W.H
	..... Travel Report	USA	S.A
4. 会員交流—北から南から—	..... 京都での日本語研修	京都市	H.T 他 4 名
5. お知らせとお願い	.....	.....	..... 支部長

## 1. 特別例会報告

京都市 K.S

日時：2018年5月5日 場所：大津市 フィンランド学校  
参加者：日本サーバス 8名 日本モンゴル交流会会員 10名 おたふく会より 5人 モンゴルより 14名 計 37名

5月3日から9日まで日本モンゴル障がい児交流会が開催され、5日の午後のプログラムである「再びこんにちわ」を特別例会としました。

例会は昼食を終えて2時から始まる予定でしたが、その日の昼食をモンゴルの方が作って下さり、その遅れのために、ゲストの到着を待っての2時スタートの昼食からの例会となりました。日本サーバス近畿支部長であり、日本モンゴル障がい児交流会の代表であるHさんの開会の辞の後、皆で和気あいあいとモンゴルスタッフお手製の美味しい料理「ポーズ」を頂きました。



昼食後、ホールに移り、モンゴル参加者による歌とダンス、日本参加者による歌に会場は楽しく盛り上がりました。その後、ゲストの皆様からお言葉をいただきました。最初は元大阪府立茨木養護学校長であるK先生です。

「Haさんがモンゴルへの援助について私に相談された事が全ての始まりです。5年前、Hiさん、Haさんに会って話を聞きました。とりあえず種を播きましようという事になり、モンゴルの方の日本での研修について、共に考え、芽が出る所まで関わりました。その後は、キャンプをされたりして、皆さんで育てて下さって、本日は日本にモンゴルの方をお招きして交流するという成長を見る事が出来て嬉しく思います。これから、ますます大きく育ち、花を咲かせ、実を实らせて行く事と思います。私ももう84歳ですので、どこまで見届けることが出来るかわかりませんが、見事に実ることを信じています。今日は本当にありがとうございました。」

続いて、花園大学のH先生からのメッセージです。

「私は2005年、JICAのシニア海外ボランティアとしてモンゴルにいました。モンゴル国立教育大学に赴任して、障がいの理解や指導法のテキストを作りました。その後、モンゴルの方が障がい児教育についての研修に京都に来られた時、そのお世話をして、HiさんやHaさんと知り合いました。それからはたびたび連絡を取り合って、今日の交流会に繋がりました。日本・モンゴル両国の障がい児家庭の皆さんが手を取り合い、将来あるお子さんが幸せになることを祈っています。これからもよろしく願います。」

共に参加して下さった先生の奥様は、モンゴルで折り紙を教えたりして活躍されています。たくさんさんの折り紙を持ってきて、次々と見せて、説明して下さいました。

最後に、デザイナーのNa様です。スピーチは苦手という事で、Haさんが代弁しました。

「素敵な腕をお持ちですが、皆のようにペラペラとはしゃべられません。モンゴルキャンプのTシャツや今回の垂れ幕のデザインをして下さいました。こんな形で参加出来て嬉しいとの事です。」

この後、日本サーバス会長よりのメッセージが披露される予定でしたが、進行が遅れてゲストのお帰りの時刻が迫ってきたので、全員で「幸せなら手をたたこう」を歌って皆の気持ちを一つにして記念撮影に移り、例会は終了となりました。

三井寺で開催された「平和を願う子供たちの絵画展」に出品されたモンゴルの子供たちの絵が会場に飾られていて、とてもいい雰囲気の例会でした。

なお、会長よりのメッセージは仕事のため例会に来られなかった草津のサーバス会員Ni夫妻が来て下さった夕食の折り、皆に披露され、サーバス紹介について盛り上がりました。又、時間の都合上、例会でカットした日本参加者によるダンスも、夜の集まりで披露し、モンゴルの方もすぐダ

ンスを覚えて、両国参加者によるダンス大会になり、これまた大いに盛り上がった事を書き加えておきます。

## 2. トラベル報告

### La vie est belle ～人生は美しい～

4月1日～4月22日にかけての旅行記

檀原市 M.K

4月1日より3週間にわたる一人旅を報告させていただきます。

まず、この旅のはじまりは、日本でのシャンソンコンクールにて受賞した副賞のフランス往復航空券。コンクールで歌った、「la vie en rose」バラ色の人生という1曲のシャンソンがもたらしてくれた幸運のはじまりです。いかにこの旅を有意義な時間にするか、ということ友人に相談したところ、サーバスという素晴らしい国際交流の組織の存在を知りました。早速 Ha さんにご連絡し、面接をしていただき、この素晴らしい旅を企画することができました。無事面接終了後、様々なフランス人ホストファミリーをご紹介いただき、全部で8家族のご家庭にお世話になることとなりました。

まずもってフランスという国の驚くべきところは、鉄道や飛行機がストライキで平気で動かない、ということ。3月31日の飛行機が飛ばなくなった、と2日前に連絡があり、4月1日の飛行機により、パリへと到着。

パリの町並みを満喫し、本当はもう少しゆっくりとパリを満喫・するはずが、次は電車のストライキ……。というわけで、La 家のご家庭に一日予定よりはやくお邪魔することになりました。

#### 4月2日、3日 Tours ツール La さん宅にて

La さんは、ご主人様と二人暮らしで、音楽の大好きなお方でした。おうちには、豪華なオーディオセットが。クラシックを中心に、様々な音楽を聴かせてくださいました。おいしいワインを片手に美しい音楽。手作りのレモンバームのお茶はとっても美味しくて、何度もおかわりしていたら、お土産にと、私にプレゼントしてくださいました。また、ブロアの美しいお城をめぐるしました。



#### 4月4日 Tours ツール Jo さん宅にて



翌日は Jo さんと Ma さんのお宅へ。Lat さんご紹介くださり、一泊お邪魔させて頂けることになりました。お二人のおうちには可愛い大きな犬がいました。Ma さんはとても素敵なお仕事をされていて、貝殻で作られたスプーンやお皿。とっても美しいものをデザインし、販売されていた。その仕事ぶりを目の当たりにし、感動。フランス人女性の凛とした、たくましさや、人としての魅力。彼女はとってもお料理上手で、料理の作り方も教えて下さいました。もちろん Jo さんも優しい穏やかな旦那様。幸運の素敵なお会いとなりました。

#### 4月5～7日ブルターニュ地方 st Malo の近く Ca さん Al さん宅にて

移動手段は blablacar というネットでの Hitchhike のようなシステム。現地の方とネットにて連絡を取り、車に便乗させていただくというもの。意外に便利でこの旅で、何度か利用しました。ストライキの多いフランスではメジャーな交通手段のようです。

フランス北西部はブルターニュの文化が古くから伝わっていて、イギリスとの戦いの歴史がいたるところに残っています。Ca と Al さん、お二人の娘様 He さんが一緒にいろんなところを観光に連れて行って下さいました。Dinan の町並みや、モンサンミッシェル、そしてサンマロ。夜は Fes nos というブルターニュ地方のお祭りにて、歌って踊って、一夜を過ごしました。とっても優しくあたたかなご家庭で、とても親切に迎え入れて下さいました。



#### 4月8、9日 Tours トゥール Mo さん宅にて



再びトゥールへ戻り、Mo さん宅にお世話になりました。御夫婦はとっても仲良しで、その日お孫様が遊びにいらしており、一緒に折り紙を折ったり、歌を歌ったりして遊びました。レオナルドダヴィンチがその生涯を終える地となったクロードリュセというお城へ一緒に連れて行って頂きました。

また、奥様のお知り合いの日本人ピアニストさんの音楽クラスを見学に。とても素敵な時間に感謝です。

#### 4月10、11日 Carcassonne 付近 Da さん宅にて

Da さんもまた、とっても素敵な女性で、翻訳家さんでした。少し都会から離れた田舎町は、彼女にとって心落ち着く大切な場所だそうです。毎日教会のチャイムで一日がはじまり、チャイムと共に日が暮れてゆきます。ご近所にはイギリス人夫婦が住んでいて、その夜はご近所さんやご友人数名をお招きして、プチパーティ。一緒に歌を歌ったり、とっもしあわせな一夜を過ごさせて頂きました。



#### 4月12、13日 Avignon Fr さん宅にて



日本が大好きな Fr さん。とっても親切な方で、アヴィニョンの街を案内して下さいました。また、南仏はマルセイユがオススメよ！と、お話下さいました。フリータイムだった16日17日に Dan さんをご紹介下さり、急遽 Dan さん宅へもお邪魔させて頂けることとなりました。アヴィニョンではオペラ「カルメン」を堪能。完売になったチケット・・・のはずが、たまたま、隣にいた女の子から、隣の席を譲ってもらえました。幸運だらけのアヴィニョン。

#### 4月16日、17日 Marseille Dan さん宅にて

Fr さんからご紹介頂いた Dan さん。マルセイユが一番好きになりました。美しい海に美しい白い山。Dan さんの弟 Mi さんが、船をもっていらっしや、午後からはマルセイユの海をセイリング。船の上で歌ったりワインを飲んだり。ピクニックタイムを過ごしました。Dan と私は Mi をキャプテン Mi と呼びました。「海は自由の象徴。セイリングすることは、日常の中での嫌なこと全てを忘れて、ただ波に身を任せること。それこそ自由だ」とキャプテン Mi.そして、きらきら輝く海の水面を眺めながら、



こう言いました。「Life is beautiful.」私は彼にこう聞きました。「それ、フランス語でどう言うの?」「La vie est belle」海の上でその言葉を聞いたとき、ああこれが私のこの旅のテーマだと思いました。

#### 4月18日、19日 Aix en provence Ma さん宅にて

マルセイユからバスで30分ほど、aix en provence では Ma さんが迎え入れて下さいました。Ma さん



さんは、何と、初恋の方がとある有名な日本人デザイナーさんの息子様。そのロマンスの話をして下さいました。19日はプロヴァンスの山を約20キロ、6時間ほどかけてハイキングに参加させて頂きました。美しい景色と、心優しいハイキングメンバー8人。山にはタイムやローズマリー、プロヴァンスのハーブがあちらこちらにありました。山の上から一望する景色。おいしい空気。大満喫でした。

翌日、無事電車も動いてくれ、パリへと戻り、パリにて友人と会い、この3週間の旅を思い返していました。どこに住んでいても、言葉や文化が異なっても、そこに、おもいやりの心があれば、深くつながることができる。美しいものに触れ、おいしいワインに、心温まる人の優しさ。たった一人で放浪旅することも、それはスリル万点の旅だったかもしれません。だけど、こんなに風にフランスという国の文化や、その人柄に触れることができたのは、サーバスのおかげだと思います。



La vie est belle 人生はとっても美しい！素敵な旅に心から感謝したいと思います。ありがとうございます！ Merci beaucoup!!

2018年4月26日記

### 3. トラベラー受入れ報告

#### ロッテルダムの知的なカップル

奈良市 K.J

A.U & J. H オランダ人夫婦 3月13日より2泊受入れ

70代で男性は医師、女性は英語教師のトレーナーという知的なカップルを迎えました。大変日本に興味を持っておられて、冠婚葬祭の習慣や墓地にも興味をお持ちでした。1日目は残念ながら雨だったので奈良の奥山をドライブして、神戸牛のしゃぶしゃぶのレストランに行きました。2日目は東大寺、二月堂、春日大社、興福寺と奈良町を散策しました。神道と仏教の違いを大変熱心に聞いていらっしゃいました。ロッテルダムにお住まいでぜひ来て下さいとのことで、いつか行けたらいいなと思っています。

#### デンマークからとアメリカからの訪問

舞鶴市 K.Y

サーバス会員になって約1年。3月末と4月初めに、初めて2組のお客様でした。

まず、3月28日、29日、30日で、デンマークの54歳の女性 Su. Tさん一人が来られました。小柄でやさしそうな Su さん、日本語を流暢にしゃべられ、とても聡明な方でした。若い頃は、デンマークの大学で日本語を学び、金沢で一年間語学留学されたこともあるそうです。今回は、東京で会議に出席のため、日本に来られ、日本海側を見てみたいとのことで、舞鶴や城崎にも来られました。夕食は Su さんが、肉をあまり食べないとのことで、サーモンのバター焼きやイワシのみりん干しなどにしました。主人も一緒に、3人で日本語で、色んなことをおしゃべりしました。デンマークの国のこと、生活のことなど。デンマークの国土は小さいけれど、とてもいい国だということを知りました。



翌日は Suさんと私で日本三景の一つである 天橋立の散策に出かけました。車で片道1時間。まず、天橋立にある文殊堂で Suさんはおまもりを家族の方に買われていました。約3km続く松並木をしゃべりながら歩きました。昼食は、うどんと Suさんは炊き込みごはん。懐かしい味だと喜んで食べておられました。その後、リフトで展望台にいき、ボートで帰り、天橋立駅のすぐ近くの日帰り温泉と一緒に入りましたが、古い和風の風情の建物に、Suさんは感激されていました。



4月4日、5日は、アメリカ、アリゾナ州からの女性 Sh. Aさんが来られました。78歳、初めての日本旅行、とてもエネルギッシュな方で、私も見習わなくてはと思いました。来られる前に、大相撲舞鶴場所のチケットを取ってほしいと言われ、私の分と2枚チケットを予約しました。私も、相撲を間近でみるのは、初めての体験、楽しみでした。Shさんも、とても喜んでおられ、写真やビデオをいっぱいとられていました。Shさんは、少し体調を崩されておられたとのことで、翌日、部屋でゆっくり眠れたと聞いて、少しは旅の疲れがとれたかなとうれしく思いました。最後の日は、出発まで時間があつたので、市内の日帰り温泉と一緒に入りました。そこで、ゆっくり2人で温泉につかりました。

### 自転車が趣味の Shさん

生駒市 O.Y

70代女性。自転車が趣味という私の情報を見て半年くらい前からツアーと一緒に参加してもらえないかと連絡をもらっていました。(最低でも2名からしか申し込めなかったようです)

外国人観光客向けのいろんなサービスが出てきているのはなんとなく知っていましたが、こんなに充実しているのか!とびっくりしました。例えば忍者体験!日本食を作ってみよう体験、お寺で写経、座禅、お掃除体験等々。

私が参加したのは琵琶湖湖畔をのんびり走って、地元の農家さんと農家体験&地元料理を楽しもうというものでした。自転車で走ること自体を目的とするには、余りにも短い距離でしたが、地元の魅力を英語の通訳付きで説明を受けながら体験するのは興味深かったです。本来外国人向けサービスなので、日本人で参加したのは私が初めてだったらしく、ツアーの運営の方は初めて会う人と一緒に回るというサービスの仕組みにもびっくりされていました。おもてなしの内容にも逆質問が飛んできて、あら?私達がやってることって最近ではお金とっても良いくらいの素敵なことをずっと前からやっていたんだと気付かされました。

Shさんはとてもエネルギッシュな方で、疑問に思うことは何でもすぐ聞いておられ、とてももうすぐ80歳には感じられませんでした。自分もそのような気持ちで老いて行きたいと思った次第です。

### 初めて我が家へ受入れて

京都市 W.H

この度初めて外国の方を我が家にお泊めするという体験をしました。私は Day host で登録しているのですが、昨年アメリカ・カナダの旅を Haさんとご一緒させていただき、Serves host の心温まるおもてなしを受け、少しでも恩返ししたいという思いがあり、微力ながら頑張ってみようと思し出ました。

USA North Carolina からのお客様 Lさん、待ち合わせの時間、場所は事前にメールで連絡していましたが、不安いっぱいでした。改札口



で待ち合わせをしましたが、南と北があることを当日駅員さんに知らされ、ちょっとあせりました。30分遅れで会うことができましたが、私は汗だくでした。その日は時間も遅く少しお話をして、就寝につきました。

次の日は二条城にご案内し（私の家からは徒歩で行けます）ランチはお蕎麦やさんで鶏つくねそばを食べました。おそばは初めてだったみたいで、すごく喜んでいただきました。その後、大阪の私の姉の家に車で向かい、茶道の体験をしてもらいました。正座はちょっと苦手のようにでしたが、たたみのお部屋での日本のカルチャーを楽しんでいただけたと思います。その日の夜はレパトリーの少ない私の作った蜆の味噌汁、慣れないお箸を使って一生懸命食べてくださいました。後で後悔、蜆は気の毒でした。それでも私への気遣いでしょう。笑顔で頑張ってくれました。

2日間でしたが、私はコミュニケーションのため英会話を楽しめましたし、いろいろ教えられることもあり、素敵な時間を共有できたと思います。又機会がありましたら受け入れたいと考えております。

## Travel Report

USA Sh. A

Dear Servas Japan,

I am an American psychologist and longtime Servas host and traveler from Tucson, Arizona.

I want to tell you about the wonderful assistance and hospitality I received from coordinator T. H and six Servas hosts during my stay in Osaka and Kyoto March 29-April 13.

My first host, Yu.M met at the train from the airport my first day and helped me with many future arrangements. Unfortunately, he had an accident during my second day and was hospitalized and had surgery. His daughter took me to the train. the next day. Subsequent hosts checked on him for me. However, I have not heard from him in response to email. (His wife doesn't speak English. Please check on him for me and let me know how he is.

With the help of T.H, Yu had put me in touch with Yo. K in Maizuro, who trusted me to buy 2 expensive tickets for a sumo exhibition which I really wanted to see. (I had offered to buy her a ticket if she would accompany me to the event. I had a wonderful time with Yo and her husband. I stayed with them after the sumo exhibition and Yo took me to a local bath house the next day before bringing me to the train.

Yo.T of Kyoto took me for breakfast on my first day in Kyoto and helped orient me to the city. She invited me to her home, but I didn't have time to go.

A.So of Kyoto took me to a hot springs resort in Ogoto, and, with her wonderful command of English, explained many things about Japan to me.

Yos. O of Nara, through email correspondence, agreed to go on a bicycle tour with me along Lake Biwa. The tour company wouldn't accept a solo reservation. I saw in Yos's profile that she liked cycling. When I proposed the trip, she enthusiastically agreed. She was the first Japanese person to take that tour!

Su. Sa from Hiroshima prefecture (don't know the town) traveled 2 hours to meet me for a day in Hiroshima. She took me to the beautiful Shukkeien Gardens where she arranged for us to rent kimono! Then she took me to Peace Park, where I visited the museum, then joined her and a group of her peace volunteer friends for a picnic.



#### 4. 会員交流—北から南から—

##### 京都での日本語研修

京都市 H.T

2017年12月に France の Mo さんより メールを受け取りました。

I am a member of French Servas since 2012. I have been in Japan in 2010 and 2015. This time, I would go to a class of Japanese language, and I find a class in the French Institut in Kyoto for two weeks in the beginning of March. I will come in Kyoto the 4th of March and my classes will be from the 5 until the 15 of March. I am sorry to take the liberty of ask you if you, or some of your friends, would host me during this period, in exchange I can help with the practice of French or Spanish. It would be a big help for me, because the class is a little expensive and if I can stay in a family, I could practice the language. I ask you now, it's a little early, but I have to give an answer for the class.

それで京都へ通える下記のサーバスホスト4人で Mo さんを受け入れる事にしました。

草津市 N.N

Mo さんが我が家に来られたのは、3月4日、11日の日曜日の二回です。初めて出会った時から、まるで旧知の仲であるかのようにフレンドリーな方でした。我が家に向かう車中で実は日本語のクラスに行けなくなったとおっしゃいます。せっかく日本語を勉強したいと来られたのに、何という事！と、私たちは日本人としてその日本語教室のいい加減さが申し訳なくて、私たちが掛け合ってみましょうとばかり調べたら、それはフランスの日本語学校でした。とにかくこのままでは予定の2週間で単なる観光になってしまうと日本語のクラスを探してみると、さすが京都、その日に行って1回100円で学べる所がありました。それが kokoka(京都市国際交流会館)の日本語クラスでした。とりあえず、2週間の予定が決まった所で、近所の散策をし、小高い所から琵琶湖をながめました。次の日曜日には比叡山から琵琶湖をながめ、わずかな日程でしたが滋賀の空気を楽しんでもらえました。とてもパワフルでいろんな所に行っていられ、お話に時間がいくらあってもたりず、大いに楽しませてもらいました。



フランス人の女性 Mo さんを3月5日から3月11日まで6泊7日で受け入れられました。彼女は国境なき医師団で助産婦として世界各地で活動していらっしゃいました。我が家から帝産バス、JR、京都市バスを乗り継いで、蹴上の国際交流会館での日本語クラスに通学されました。毎日お忙しい Mo さんですが、3月

大津市 S.S

10日(土)、我が家でティータイムをしました。メンバーは私たちと友人家族、我が店(パンやケーキを作って売っている)のスタッフの女性 Ma ちゃん、Ma ちゃんはパリでケーキとパンを勉強してきました。Mo さんのレシピでチョコレートケーキを焼きました。Mo 流なので、ギャラリーはハラハラしたり「？」だったり。かなり時間がかかりましたが、見かけとは裏腹に美味しいケーキが出来ました。サーバスメンバーの M さん宅にもお持ちしました。

#### 京都市 H.T

日本人より日本的な Mo さん、我が家に泊まれたのは3月の12~14日の3泊です。12日夕食時には、すぐにフランスに行きたいと言う近畿支部新入会会員が、サーバスステイを体験するため、我が家に来られました。Mo さんはいろいろフランスについてアドバイスして下さいました。次の朝は近所の方が東福寺のバス停まで彼女を送って下さり、無事、KOKOKA 着となりました。帰られてから、近くの伏見稲荷神社を山頂近くまで案内し、山伝いに我が家に帰ると、ハイキング好きの Mo さんは神社だけでなく、ハイキングも出来たとお喜びでした。この時期、近くの東福寺は丁度涅槃会の時で、いつもは公開されない所が多く公開されていました。幸い私は近くの縁でその無料拝観券をもらえたので、彼女と一緒にいった所、KOKOKA から帰られてからなので、少ししか見られませんでした。それで、次の日は日本語クラスの午後の授業を休んで急いで帰って来られ、東福寺に行った所、本堂での素敵な尺八の演奏会に間に合って、禅堂にも行かれたり、大満足でした。夜は花札やカルタ、着物を着たりと日本文化を体験して頂き、次の A さん宅へ行かれました。



日本語の勉強中ということで、日本語の会話に励みました。お土産におまんじゅうを買ってきてくださり、おいしくいただきました。食事も和食中心にして、お話をいっぱいしました。一泊でしたが、荷物を置いて学校へ行かれ、次の奈良市内に予約していた旅館に行かれました。

#### 京都府久世郡 A.K

#### A little text about Kokoka.

#### D. Mo

First I know Kokoka by my Servas host and I thank them to help me. Because my classes in French institute has been canceled. I could go during 9 days in Kokoka. I met very good persons who taught me many things. About Japanese language, they answered my questions, sometime it was a little difficult for me, but they repeated to explain many times in different way, and at last I could understand. I will recommend about Kokoka if French friends want to come in Japan, and have some classes. There are a lot of cultural events there not only Japanese language class, and we can meet many people from many countries. It is a very good place, thank you very much.



#### 京都市国際交流会館の日本語クラスについて

Kokoka には日本語を母語としない人たちに対する学習支援活動があります。その1つが今回 Mo さんが通われた日本語クラスです。クラスは少人数制で、日本語チューターと呼ばれる指導者がボランティアで関わっています。クラスは Kokoka が休みの月曜日以外、毎日午前、午後、夜間に1時間30分を単位として開講されています。参加費は1回100円で申し込みは不要、誰でも、何時からでも、どんな

レベルでも参加出来ます。近畿支部会員の中にもこの日本語クラスの指導者だった（である）人が5人います。2人は退会しましたが、3人は引き続いて近畿支部会員として活動しています。

## 5.お知らせとお願い

支部長

- \*既にお知らせしていますように、6月24日(日) 11:30より奈良市「野菜ダイニング 菜宴 (saien)」にて例会を行います。よろしくご予定下さい。
  - \*プロジェクターがあるのでパソコンを使ってわかりやすく色々例会で勉強出来るようになりました。皆さんもこんな事が知りたいと言うことがあればどうぞお知らせ下さい。又、お楽しみ例会が未定ですので何か良い案があればご提案して下さい。
  - \*5月に大津市を中心にして行った日本モンゴル障がい児交流会、企画立案はモンゴルとの交流キャンプに参加した者が主にしましたが、今回の交流会には日本サーバス会長からのメッセージを始めとして、地元支部会員の車の提供、買い物、差し入れ、地元情報の提供、そして、遠く北海道や東海北陸支部の会員の方も参加して下さいという多くのご協力をサーバスから頂きました。本当にありがとうございました。いずれ、報告集を出して報告いたしますので、お待ち下さい。
  - \*サーバスの国際会議が10月13日~20日韓国のソウルで行われます。参加される方でまだ申し込まれていない方は至急申し込まれるように、よろしくお願い致します。
  - \*2018年度サーバス年会費（一般3000円学生2000円休会者B1000円）をまだ送金されていない方は次の口座へ宜しくお願ひします。
- 口座番号00990-6-33645 加入者名日本サーバス近畿支部

以上